

難民支援 NGO “Dream for Children” 2011 年度活動報告書



目次

ご挨拶	2
現在のチベットの状況	3
現在のビルマの状況	5
2011年度の活動	6
2011年度会計	10
付録：難民から東日本大震災被災者への 応援メッセージ	
	11

ご挨拶

2011 年度は特別な一年であったと思います。東日本大震災の復興に日本中、世界中の目が向けられました。震災のことを知ったチベット難民、ビルマ難民も日本の被災者を気遣ってくれました。特に、チベット難民は、そのほとんどが月収 5 千円程度の生活を送っているにもかかわらず、日本の人たちのために 25 万円分の募金を集めてくれました。

日本では災害が発生すると、政府が当たり前のように支援をしてくれます。しかし、このことはチベットやビルマでは当たり前のことではありません。2010 年に東チベットのユルシユルで発生した死者 3 千人を出した大地震の後、今なお、テントでの生活を余儀なくされているチベット人が大勢います。地震を機に、政府に土地を没収された人々もいます。抗議の声をあげた人々は軒並み拘束されました。ビルマでは 2008 年のサイクロンナルギスで死者が 8 万人を超えました。国際社会の支援を受け入れていればもっと死者が減ったのかもしれませんが、ビルマ政府は現地の弾圧の状況を隠すため海外からの緊急支援を拒否しました。

震災後、色々と考え、行動した方もたくさんいらっしゃると思います。今は日本が大変な時期ですが、時がたつにつれ海外に目を向けて下さる方が増えることを願っています。

代表 亀田浩史

現在のチベットの状況

【止まらぬ焼身自殺】

2011年3月、東チベットのキルティ僧院の僧侶プンツォク（20）が焼身自殺を遂げました。プンツォクは、ダライ・ラマのチベットへの帰還とチベットの自由を求めています。この後、キルティ僧院は中国当局の激しい弾圧に見舞われ、僧侶300人が連れ去られました。僧侶の連行を阻もうとした老人は、警察に両手両足を折られたあげく、殺害されました。現在、僧院には、中国当局が駐留し、再教育（チベット人の精神的指導者ダライ・ラマを否定し、中国政府を崇拜させる教育）を行っています。

プンツォクの焼身自殺後、チベット人の間に焼身自殺が広がり、2012年3月までに32人が自らの体に火を放ちました。2010年以前にチベット本土で焼身自殺をはかったチベット人は1人しかいません。このことを考えると、現在の状況は極めて異例であると言えます。中国政府は焼身自殺が広がっている地域に外国人が足を踏み入れるのを防ぐべく、2011年4月以降、東チベットのソガバを外国人立ち入り禁止にしています。また、他の地域も随時外国人立ち入り禁止になっています。現地には、多数の中国治安部隊が配備され、緊張が高まっています。

現地では政府による通信の遮断も相次ぎ、リアルタイムで情報を得るのが難しくなっています。

【中国警察の非武装のチベット人への無差別発砲】

2012年1月、東チベットで抗議の声をあげたチベット人に対し、中国警察が3度にわたり無差別発砲を行いました。その後、事実上の戒厳令が敷かれ、負傷者が病院に行くことができない事態になりました。

【新たなリーダーの誕生】

このような難しい状況の中、2011年8月、チベット難民社会に新たなリーダーが誕生しました。インドのダラムサラに拠点を置くチベット亡命政権の首相にロブサン・センゲ博士が就任したのです。ダライ・ラマ14世は自らの政治的

権限をすべてロブサン・センゲ首相に譲渡しました。これにより、ダライ・ラマ5世の時代から続いたダライ・ラマが政治と宗教の両方のリーダーを兼務する時代は終わりを告げました。ロブサン・センゲ首相は、就任後、海外の政府に対し、チベットの苦境を訴えています。

【亡命するチベット人の減少】

近年、中国政府がネパールとの国境の警備を強化し、亡命に成功するチベット人は減少の一途を辿っています。

【巡礼者にしかけられた罠】

2012年2月、チベット本土で暮らすチベット人に対し、中国政府は、インドで行われるダライ・ラマのティーチングへの参加を認めました。これは異例のことです。しかし、ティーチングに参加して故郷に戻った際、巡礼者は拘束され、再教育を受けています。



新たにチベット難民のリーダーとなったロブサン・センゲ首相



チベット人の焼身自殺を受け、祈るチベット難民

現在のビルマの状況

【進む新政府の改革】

2011年3月に誕生した新政府が改革を進めています。ミンコーナイン、ガンビラなど主要な政治犯の釈放、メディア規制の緩和などが行われています。

2012年4月には議会の補欠選挙が行われ、民主化運動指導者アウンサンスーチー女史も出馬することになっています。しかし、スーチーの政党国民民主連盟の候補者が全員当選したとしても、議員の多数派は依然軍人および軍の翼賛政党员です。

現行憲法では、議会の4分の1は軍人が占め、残りの4分の3を選挙で選ぶことになっており、依然公正な選挙と呼べる状況にはありません。

【少数民族地域での内戦】

新政府は少数民族との和解を進めていますが、カチン州を中心として内戦が続いています。政府軍は、非武装の人々の襲撃、射殺を続けています。カチン州では2011年だけで4万人以上が故郷を追われたと見られます。

【タイ・ビルマ国境で暮らす難民の不安定な生活】

ビルマで改革が進む兆しが見られることから、タイ政府は難民をビルマへ送還する動きを見せています。しかし、彼らの故郷はまだ彼らが安全に暮らせるような状況にはなっていません。



タイで暮らすビルマ難民。まだ彼らが故郷に戻れる状況にはない。

2011年度の活動

	国内の活動	現地の活動
4月		インドでのチベット難民支援 ・英語教育を通じたチベット難民の就業支援 ・難民の状況の調査
5月		
6月		
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「タイ・ビルマ国境で暮らす難民を訪ねて」(名古屋) ・講演会「チベットの難民は今」(愛知サマーセミナー) 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「僕らが海外に出た理由」(名古屋) ・書籍「尋問の記憶」発売 	
9月	学生アゴラ出演 (名古屋)	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「チベットの難民は今2011」(名古屋) ・ワールドコラボフェスタ出展(名古屋) 	
11月	講演会「翻訳という名の国際協力」(名古屋)	
12月	国際交流フェスティバル出展(津)	
1月		
2月		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「今あなたに届けたいチベット難民からのメッセージ」(名古屋) ・講演会「今あなたに届けたいチベット難民からのメッセージ」(愛知県立小坂井高校) 	

国内の活動

国内では難民問題の啓発活動に重点を置いています。

【書籍】

ジャーナリスト・作家・歌手・作曲家ジャミアン・キ著の「尋問の記憶～あるチベット人女性～」を翻訳出版しました。ジャミアン・キ女史は欧米では知名度は高いですが、日本では初の翻訳本となりました。ジャーナリスト・国家基本問題研究所櫻井よしこ理事長の週刊ダイヤモンドのコラムにも取り上げられました。

現地の最新の情報をまとめた書籍のほとんどは英語か現地語です。日本での情報拡散のため、この翻訳事業は今後も続けていきます。2012年度も1冊出版予定です。

【講演会、展示会】

2011年度は7回の講演会と、3回の展示会への出展を行いました。講演会では現地で行った難民へのインタビューを交えながら、ホットな情報を提供しています。2011年度は講演会参加者の94%の方に、「非常に満足」、「満足」とご回答いただきました。

◆2011年度の講演会のご感想

- 25人の焼身自殺を経ても、このように講演を聞かなければ私にこの問題が届くことはなかったでしょう。問題の重大さとNGOの方々の活動の重要性を認識しました。
- チベットで起きていることが本当に同じ地球で起きていると信じられなかった。自分の生まれ故郷で、言語制限を受けたり、信じる宗教までも制限を受けるなんて信じられなかった。自分たちも大変な生活を送っているのに、日本の心配をしてくれるなんてとても心やさしい人たちだと思った。
- チベットの難民はかわいそうだと思います。自由があるといいね、と思います。世界にはチベットの人々のような人がたくさんいると思うと、何かしてあげたいと思いました。授業で初めて泣きました。
- 私はチベット難民について全く知らなかったのだと今回の講演で身に沁みるようにわかりました。私たちと同じ年齢の子、それより下の年齢の子が罪に

問われたり、自ら命を絶つという状況にあることにひどくショックを受けました。誰しも自分の故郷は恋しいもので、その故郷にすら帰れない人々が何千人といること、その土地の文化や宗教も認められないことの驚きと悲慘さがよくわかりました。焼身自殺をしていく人たちは故郷をもっと多くの人に知ってもらいたくて、自分の身を差し出してまで訴える姿の写真はこれから先も忘れることができないものでした。

また、今もなおチベットが辛い状況にあり、亡命してきた人も同じように辛いはずなのに、東日本大震災のあった日本に向けて言葉を残してくれて温かい気持ちになりました。1日も早くチベットが変わることを願います。

- チベットの方々自分たちが辛いのに日本のことを応援してくれていることに感動しました。将来の夢への意志が強くてすごいなと思いました。色々な物に恵まれている私達よりも苦労しているチベットの方々の方がしっかりしているなと思いました。私達にできることは伝えることだと思ったので、家へ帰ったらまず父や母に今日の講演のこと、チベットの方々のことを伝えたいと思います。早くチベットの方々が安心して暮らせる世界になりますように・・・。
- 僕たちが知らないところであんなひどいことが起きているなんて驚いた。チベットの人たちは自分達の歴史や言語を学べなかったり、不当な扱いを受けたりしているのに希望を捨てずに一生懸命生きているんだから、幸せな僕たちはもっと一生懸命に生きなくてはいけないと思う。あの人たちのために自分ができることは、周りの人にチベットの現状を教えることとか小さなことしかないと思うけど、少しでもあの人たちのために何かしたい。僕の将来の夢は英語の教師になることだったけど、NGOとして世界の恵まれない人々を救うのもやってみたいと思った。今日、さっそく家族にチベットのことを話そうと思う。チベットだけじゃなく、世界の人のためになることをしたいと思った。

【ブログ】

現地のメディアのニュースのうち日本のメディアが取り上げない情報をメインに提供しています。2011年度はブログの内容がYahoo! ニュースで取り上げられました。

現地の活動

世界でチベット難民が最も多く暮らす街インドのダラムサラで支援を行っています。

[物資支援]

文具、衣類、英語に翻訳した日本語の絵本を亡命後間もない子供たちが暮らす Tibetan Children's Village へお届けしました。

[教育支援]

言葉の問題で就職が難しい大人のチベット難民への英語教育を継続しています。なるべく早く職にありつく必要があるため、みな数ヵ月単位で英語をマスターしていきます。これまでに 20 人以上が英語を身に付けて社会に羽ばたいていきました。

また、現地を訪れた外国人に対し、放課後の空き教室を使ってチベット難民の置かれている状況の啓発活動を行っています。

[取材]

難民の方への聞き取り調査を続けています（内容は、付録をご参照ください）。前述の通り、中国・ネパール国境の警備が強化されており、新たな難民の数自体が減っています。最新の生の声を聞くのが徐々に難しくなっています。



2011 年度会計

単位 [円]

前年度繰り越し	▲ 276, 936
収入	
事業収入	396, 267
会費収入	100, 000
寄付（一般寄付）	18, 700
寄付（現地支援寄付）	139, 641
計	654, 608
支出	
啓発事業費	220, 615
海外事業費	27, 019
現地への寄付・難民の生活費	407, 176
旅費・交通費	68, 604
管理費	49, 630
広告費	0
印刷費	60, 591
送料	43, 376
計	877, 011
今年度収支	▲ 222, 403
次年度繰越	▲ 499, 339

【付録：難民から東日本大震災被災者への応援メッセージ】

●日本で起きたことを知ってとても残念に思っています。家族はどうか？またあなたに会えるのを待っています。あなたと日本の皆さんの無事を祈っている人たちがここにはたくさんいます。

行方不明の人が少しでも見付かるといいです。今は最悪の事態ですが、これから状況はよくなっていくと願っています。

●あなたのマクロードガンジ（訳注：チベット難民が暮らす地域）での働きに感謝しています。多くの日本人が命を落としたり、家族や家をなくしたと聞きました。とても気の毒に思います。できることならば日本へ行って、みなさんの苦しみを和らげるお手伝いがしたいです。亡くなった人はまたこの世に別の人間として復活すると私たち仏教の僧侶は考えています。日本人と日本に対し、思いやりのこころを持って祈りを捧げます。

●日本で起きたことをとても気の毒に思っています。傷ついた日本人の皆さんの心が元気になるように祈ります。難しい状況ですが、強い心を持ち続けてください。自然災害を防ぐことはできません。離れ離れになった家族が再び一緒に暮らせるよう私たちは祈っています。よい未来が来ることを願っています。

●悲惨な地震が日本で起きました。多くの方が亡くなり、私は悲しいです。日本の人が元気でいられるよう私はすべての日本人のために祈ります。私はいつでも日本人を支援しています。

●日本の地震のことを聞いてとても胸が痛んでいます。自然災害なので、結果を受け止めなければいけません。日本人のお手伝いができればいいのですが、私はインドにいます。できることは1つだけです。亡くなった方、行方不明の方に祈ります。私の心は日本人の皆さんと共にあります。日本人のみなさんがこの困難な状況を乗り越えられることを願っています。

●日本の地震のニュースを聞いたとき、とても悲しい気持ちになりました。毎日お寺に行って、日本人のみなさんのために仏に祈っています。BBC ニュースで、多くの方が行方不明になっていると知りました。日本に行ってお手伝いができればいいのですが、私はインドで暮らす難民です。日本政府が生き残った人に対して支援をしてくれることを願っています。ダライ・ラマ法王を含め、すべてのチベット人が日本人のみなさんのために祈っています。

●テレビで日本を襲った大地震のニュースを見て、悲しい気持ちになりました。あなたのことを心配しています。あなたと家族が無事であることを願っています。あなたが無事であることを毎日願っています。悲しみは時の流れとともに癒されていきます。心配しなくて大丈夫です。あなたの生徒として、あなたのことをいつも応援しています。またすぐに出会えることを願っています。

●最近日本で起きた地震のことを知って、とても気の毒に思っています。多くの方が亡くなったり、行方不明になったと聞きました。とても心配しています。私は、難民であり、一学生でしかないので、何もできません。私たちのまわりで起きることはカルマで決まります。地震から逃れることはできません。日本の皆さんが幸せに暮らせるよう願っています。

●今の日本の状況をととても悲しく思っています。明日には状況がよくなると願っています。すべてのチベット人が日本のみなさんが幸せになるように祈っています。

